

げんき 考房 こまき NEWS

編集 (特)こまき市民活動ネットワーク



「年々、応募してくる申請事業の内容がレベルアップし、審査基準は高くなってきています」と述べる「モリコロ基金」相談サポートスタッフの中尾さゆり氏。



数々の助成金に手をあげた経験を、ユーモアを交えて話す「兒里の家」の橋本保館長。「日頃からアンテナを高くて情報収集を！」とアドバイスしました。

平成21年度 市民活動センター研修事業 NPO 講座 「知っておきたい『助成金』活用術」 報告

市民活動を対象とする助成金についてノウハウを培ってもらおうと、3月13日(土)に市公民館4階視聴覚室において「知っておきたい『助成金』活用術」と題した講座が開かれ、34名が参加しました。

はじめに、市内の市民活動の相談窓口である活動センタースタッフから、助成金についての予備知識や申請に当たっての心構えなどについて、レクチャーを行いました。

その後、身近な助成金として「小牧市市民活動助成金」については市生活交流課の担当職員から、また「あいちモリコロ基金」については、同基金の相談サポートスタッフから、それぞれの助成金の概要と申請に当たってのチェックポイントなど、過去の具体例を交えた説明がありました。

中でも、「過去に、どのような事業が高い評価を得て助成金を獲得したか」「申請書を書く上で、どのような点が審査基準として重要となるか」といった、申請者サイドに立った内容は、大変参考となるもので、参加者はメモを取るなどして、熱心に聞き入っ

ていました。

先輩団体から学ぶ 「お金だけではない、助成金で得るもの」

後半は、「小牧市市民活動助成金」の獲得を手始めに、その他の助成金にも手をあげ、活動の幅を広げる「家庭文庫ばれっと」の野地優香里代表と「兒里の家」の橋本保館長から、助成金を得るために苦労した点や、日頃心がけていることなど、体験談をうかがいました。

「無名だった団体が、助成金を得たことで認知され活動がしやすくなり、その後の自信につながりました」と野地さん。「助成金を得たことがきっかけで、たくさんの団体との交流の機会を持つことができました」と橋本さん。

資金調達に苦労しながらも、着実に力をつけてきた両団体の話には説得力があり、今後、助成金を活用しようとするみなさんへの大きな励みとなりました。

起業発見ツアー

「子育てママのネットワーク ～安心して働ける場づくり～」実施

起業現場を見て学ぼうと、1月29日(金)に西尾市のパチンコ店の一面にある託児ルーム「キッズ・ママ オーギヤ西尾店」を訪問しました。運営しているのは、同市内で子育て支援活動を行うNPO法人「NPO ママ・ネット」。パチンコ店の2階に託児ルームを開設して6年目になります。

パチンコ店で託児を行うようになったきっかけは、深刻な問題となっていた、パチンコ店駐車場での「車内への子ども置き去り」を何とか解決したいと考えていたパチンコ店の従業員が、たまたま新聞記事で、お寺の本堂を借りて無料で託児を行う「NPO ママ・ネット」の活動を知って声をかけたことが始まり。企業が場所を提供し、市民団体が託児のノウハウを提供することで、お互いのニーズが合致し“協働”による起業が実現しました。



パチンコ店内に併設された託児ルーム「キッズ・ママ」は、パチンコ店を利用しない方にも気軽に利用できるよう、入口を別に設けるなど、きめ細な配慮がされていました。



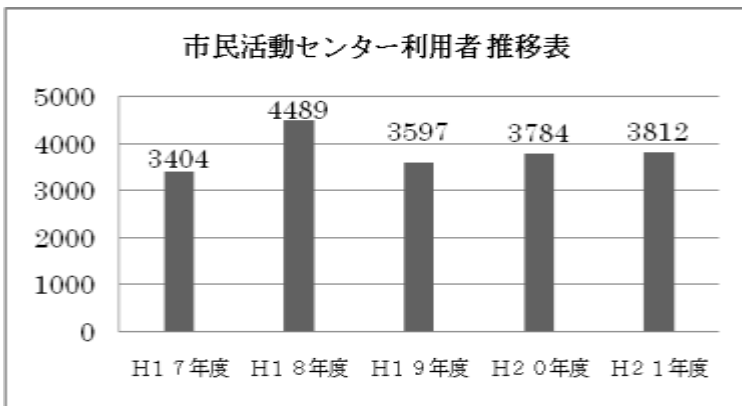
企業からのアプローチに、ここを拠点とした託児の必要性を感じて協働に踏み切った経緯に、利益を追求するのみではないNPOの明確な意志を感じました。

今回のツアーには、子育て支援団体や協働を考えている市民の方が参加。見学後には質疑応答の場が設けられ、「NPO ママ・ネット」代表理事の榊原正利さんや託児ルーム「キッズ・ママ」の統括責任者の富田百合子さんから「活動の原動力」や「協働後の利点や問題点」などについて、詳しく話をうかがいました。

公共でも企業でもない、NPOならではの子育て支援の現場を垣間見たことで、あえてNPOとして起業する意味について理解を深める機会となりました。

小牧市市民活動センター利用状況

(平成 21年度利用状況については、平成 22年 2月 28日現在のものです。)



＜平成 21年度利用状況＞

- ◆団体登録受付 4件
- ◆センター利用登録受付 15件
- ◆助成金受付 5件
- ◆情報センター利用受付 3件
- ◆相談および助言 81件
- ◆電話での相談 39件
- ◆団体間交流 121件
- ◆パソコンの利用 18件
- ◆印刷機の利用 281件
- ◆会議スペースの利用 150件
- ◆情報収集等 1731件

これからも、お気軽に市民活動センターをご利用ください！

＜H21年度小牧市市民活動助成金＞対象事業の活動報告

米野さわやか会 主催
**清潔が当たり前の環境に
 ～子どもたちの将来に目線～**



ゴミ袋セットなどのキャンペーンツール5点セットを配り啓蒙を行いました。

昨年度は主な通学路沿いの「おうちまわりキャンペーン」を行いました。今年度は学校まわりと子どもが集まる公園まわりに展開。快く協力して下さる住民のみなさん、事業所のみなさんに感謝しています。気持ちが届かないように啓発情報も届け、2年間で300世帯を超える協力を得ることができました。清潔が当たり前のまちに一步一步近づいています。

和祝太鼓 主催
**みんなで元気になる
 ふれあい交流**



12月6日、「わくわく祭(勤労センター)のオープニングで演奏を披露する子どもたち。

設立10周年を迎えた当グループは、今年度もイベントや施設から依頼を受け、23回の演奏活動を行いました。また11月15日に開催された「県民文化大祭典 in ナゴヤドーム」では、プロの太鼓集団「志多ら」のプロデュースによる「2000人太鼓」にも参加。県内の太鼓グループらに交じっての演奏は、とても良い経験となりました。

兒の森活動グループ 主催
**里山分校
 きのコを栽培しよう！**



コナラにはシイタケの菌を、サクラにはシラタケの菌をうちこんでいます。

2月14日、兒の森において「きのコ菌うち体験」を行い、親子20組が参加しました。切り出したコナラとサクラの原木に数十ヶ所の穴を開け、そこに菌をうちこんでいく作業に、最初はおぼつかない手つきだった参加者も徐々に慣れ、2時間ほどで作業を終えました。最後に自分で菌うちした原木を嬉しそうに抱きかかえて帰る子どもたちの姿が印象的でした。

家庭文庫ばれっと 主催
**お話の世界を通して育ち
 子育て・親育ち**



一般にも呼びかけて行った「ブックトーク」の研修会には約70名が参加しました。

学校・図書館など図書に関するグループのネットワークづくりを目的に、研修会と情報交換会を計3回開催しました。11月16日の研修会には「どこでもブックトーク行ってみようよ 本の世界へ」などの著者である北畑博子さんを招き、ブックトーク(テーマに沿って本を簡潔に紹介すること)を学びました。参加者からは「活動にぜひ取り入れたい」と好評を集めました。

平成22年度市民活動助成金 交付対象事業を募集します

**市民活動を
 応援します！**

「市民が輝き活気あふれるまちづくり」を目的とした創意と熱意にあふれる事業に対して、必要な経費の一部を助成します。

■助成枠

＜はじめの一步部門＞

設立して間もない団体や、経営基盤が弱い団体が成長・自立していくための事業に対して助成します。1団体につき1回限り。

＜元気なまちづくり部門＞

団体がすでに行っている公益活動の事業拡充や、自発的に課題解決に取り組む、行政や企業では提供が困難な公益サービスを市民に提供しようとする事業に対して助成します。助成期間は最長3年間。

■対象

「小牧市市民活動推進条例」に基づき、市民活動団体として登録している団体。

■対象事業

公益的な社会貢献活動で、創意工夫あふれる事業。

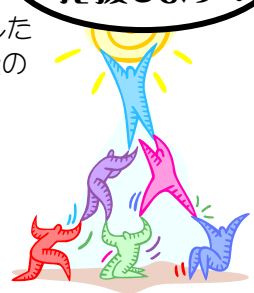
■申込み

4月1日(木)から30日(金)までに、市民活動助成金交付申請書及び事業計画シートを市生活交流課、または市民活動センターへ提出。

※詳しくは応募要領(生活交流課、主な公共施設、市民活動センター、市ホームページ)に用意をご覧ください。

■問合せ・申込先

市生活交流課(☎76-1173) 市民活動センター(☎74-4011)



市民活動の広場

催し

小牧商工会議所地域づくり事業 「小牧アートフェスタ上街道」

“アート”をキーワードに地元商店街と市民、学生が協力してまちを盛り上げます！内容/上街道ギャラリー、史跡探索スタンプラリー、ステージイベント、体験ブースなど 日時/H22年3月28日(日) 10:00~16:30 場所/上街道(小牧4丁目周辺)雨天開催 問合せ/小牧アートフェスタ実行委員会 ☎090-9910-3321 伊藤さん

小牧少年少女合唱団 「第11回 定期演奏会」

歌物語「小牧山吉五郎」ほか
日時/H22年4月3日(土)

13:30開演(13:00開場)場所/味岡市民センター講堂 入場無料 問合せ/小牧少年少女合唱団事務局 ☎76-2788

小牧植物同好会 「小牧市近隣観察会」

会員以外も参加できる植物観察会です。日時/H22年5月7日(金) 観察場所/犬山市本宮山山麓西洞池のヒツバタゴ 集合時間・場所/午前 9:45 犬山市大縣神社駐車場 参加費/300円 服装・持ち物/登山靴・雨具・昼食 申込方法/当日集合場所で受け付けます。雨天決行。傷害保険なし。問合せ/小牧植物同好会 ☎77-1937 長谷川さん

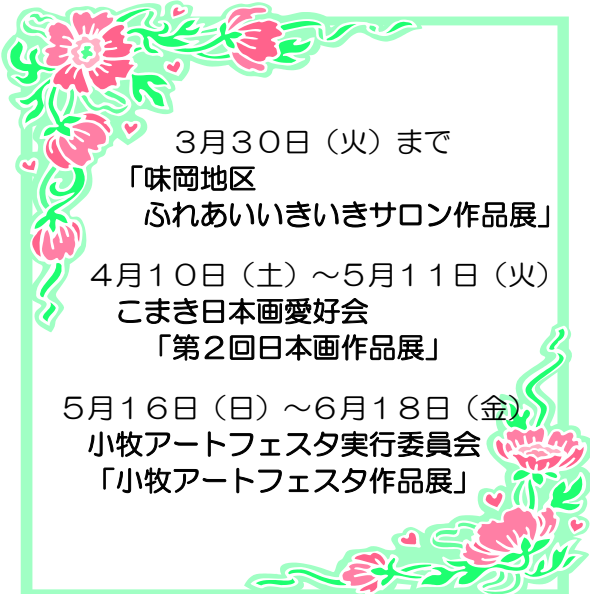
募集

小牧歴史ガイドボランティア たぶの木会 会員募集

文化財、歴史、伝統文化について勉強し、次世代に継承することを目的にボランティア活動をしています。一緒に活動しませんか。内容/歴史勉強会、歴史探訪ウォーキング、市民まつりでの歴史館ガイドなど 活動日/月1回※月により異なります。詳しくはお問合せください。場所/青年の家 会費/年会費3000円・入会金1000円 問合せ/小牧歴史ガイドボランティアたぶの木会 ☎77-7726 瀬瀬(こうけつ)さん

事務局便り

■ 市民情報センター ギャラリーの催し



市民情報センターギャラリーに展示して下さる個人・団体を募集しています。申込方法など詳しくは市民活動センターまでおたずねください。

■ 市民活動団体登録について

市では「市民活動団体」の登録を呼びかけています。登録団体は市のホームページで活動内容などをPRすることができるほか、市民活動助成金を申請する際の応募資格ともなります。登録資格や申し込み方法など詳細は生活交流課交流係(☎76-1173)または市民活動センター(☎74-4011)までおたずねください。

■ センターをご利用ください

市民活動センターでは、市民活動に関するさまざまな支援を行っています。市内で市民活動を行っている団体はもちろん、在住、在勤、在学のどなたも利用できます。簡単な利用登録(無料、印鑑が必要)だけで会議スペース、印刷機(有料)、パソコンなどがご利用できます。

編集後記：1年前に、庭の片隅に植えた高さ50センチほどのサクラランボの木が花をつけ始めました。正直に書くと、花を見つけて「あ、そうだった！」と、植えたことを思い出したのでした。そして、実をたくさんつけた木を選んで買ったのに、植えた途端に小鳥に全部食べられてしまったことも…。今年、甘い実を先に頬張るのは、小鳥？それとも私？(ひ)

小牧市市民活動センター 〒485-0041 小牧市小牧2丁目107番地 市公民館内 TEL/0568-74-4011 FAX/0568-74-4070
休館日/月曜日、年末年始(12月29日~1月3日) e-mail/komaki.npo-c@me.ccnw.ne.jp
開設時間/10~18時 HPアドレス/ http://komakici.jp/